

【原稿サンプル】

【タイトル】

歯科衛生士さん必見！

保存版 | SRPが伸びない人の3つの共通点

【本文】

「なんで自分だけ仕上がりにムラがあるんだろう…？」

- ・ 歯石は取れてるのにザラつく
- ・ 深いポケットだけ異常に時間がかかる

実はこれ、よくある悩みなんです。

そんな悩みを持つ方へ、よくある“つまづきの共通点”を3つにまとめて解説します ✨

まずはそこを一緒に見直してみましょう👁️

共通点① | パワーに頼りすぎ

✖ 「強く押したほうが早い！」は逆効果。根面に傷が入りチップの動きも弱くなります。

👉 理想は接触圧+ストロークで“軽く当てて滑らせる”イメージ ✨

力ではなく“コントロール”が上達の第一歩です。

共通点② | チップコントロール不足

✖ 一方向だけの動きでは根面にフィットせず、取り残しが発生しやすくなります。

👉理想は短く・多方向に、根面に沿って動かすこと💡

特に隣接面は角度の意識がポイント！仕上がりが一気に変わります。

共通点③ | 視認・触知不足

❌手の感覚だけで進めると、どうしてもムラ出やすい…

👉ミラーで見ながら＋プローブで触知確認が理想✨

視覚×触覚のダブルチェックで、スムーズ＆確実な除去につながります。

SRPが伸び悩む人ほど「早く終わらせないと…」と焦りがち💧

でも実は、丁寧で繊細なタッチこそ除去効率がアップします。

結果的に施術時間の短縮にもつながるので、焦らないことが上達への近道です🕒✨

まとめ

📝SRPが伸びない人の共通点

❌力で押している

❌コントロール不足

❌視認・触知不足

→強さより繊細さが大事！

ちょっと意識を変えるだけで仕上がりが安定します✨

ぜひ保存していつでも見返してください！